

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

札幌市 地域セミナー 報告書

2018（平成30）年8月31日（金）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」札幌市地域セミナーが開催されました。当日は、札幌市のオリンピック・パラリンピック教育推進校の先生方36名（小学校30名、中学校6名）及び札幌市スポーツ局招致推進部長佐藤学氏をはじめとする招致推進部の方々にご来場いただき、下記の要領で盛会の裡に終了いたしました。

【開催概要】

日時：2018（平成30）年8月31日（金）14時30分～17時00分

会場：札幌市教育委員会 6階会議室 AB

主催：札幌市教育委員会、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：36名

プログラム：

14:30～14:35 開会の挨拶

札幌市教育委員会学校教育部教育課程担当課 指導主事 末原 久史 氏

14:35～14:55 オリンピック・パラリンピック教育の実践報告（三里塚小学校、北白石小学校）

14:55～15:10 オリンピック・パラリンピック教育について

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 副センター長 深見 英一郎 氏

研究員 岡田 悠佑 氏

（15:10～17:00 「あすチャレ！スクール」 教員研修）

開会行事では、札幌市教育委員会学校教育部教育課程担当課指導主事の末原久史氏より挨拶がありました。



末原 久史 氏



会場の様子

次に、推進校の先生方より、これまでに取り組まれた実践の紹介がありました。

札幌市では、昨年度から大倉山ジャンプ競技場内にある「札幌オリンピックミュージアム」を活用したオリンピック・パラリンピック教育の実践を推奨しています。具体的には、「札幌オリンピックミュージアム」に行き、館内の体験型ブース（スキージャンプやボブスレーなど）の体験や学芸員の方と展示物の観覧、さらには館内のホールでのオリンピック・パラリンピアンの方の講演の聴講などの取り組みです。セミナーでは、これらの取り

組みを実施した先生方から、実際に「札幌オリンピックミュージアム」を活用したオリンピック・パラリンピック教育を通して子ども達の様子がどのように変化したのか、実施する上で困難だった点などについて、写真を踏まえながら発表いただきました。



実践発表の様子①



実践発表の様子②



札幌オリンピックミュージアム



スキージャンプの体験型ブース



オリンピックの講演

続いて、本センターの深見英一郎副センター長及び岡田悠佑研究員より、全国の動向も踏まえたオリンピック・パラリンピック教育についての説明がありました。

深見副センター長からは、上述の実践発表も含めて札幌市の取り組みが日本におけるオリンピック・パラリンピック教育の一つのモデルとなっているなどの講評がありました。

次に、本センターの岡田研究員より、本事業の紹介に加えて、他地域の実践事例を元にした学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の指導方法についての紹介がありました。実践紹介では、札幌市の今年度の推進校のオリンピック・パラリンピック教育実施計画に即して、特に、事前・事後学習に関する指導を中心に、調べ学習や各教科を活用した実践などの紹介がありました。さらに、札幌市が作成したオリンピック・パラリンピック教育用教材やWOWOWの作成した「WHO I AM」などの紹介もありました。



深見 英一郎 副センター長



岡田 悠佑 研究員